

第 1 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年2月13日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	総務部・教育委員会・大学
出席者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 植松正一 大石健二				
委員外議員					
欠席委員					

総務部

審議事項

〈 防災担当 〉

1、北海道電気保安協会との協定について

◎経過及び協定の内容について

北海道で起きた停電災害を例に、停電を想定した災害に備えるために、災害時協力協定を結ぶことにより災害時における応急対策及び復旧作業を円滑に行うため協定を取り交わす。

〈 企画課 〉

1、「転入者向け公共施設のお試しチケット」について

暮らしのガイドブック・市内17施設で使用可能な無料チケットを転入者全員に贈呈。

教育委員会

審議事項

1、名寄市立東風連小学校閉校について

東風連町内会長・東風連小学校PTA会長・東風連小学校長ら5名より、平成28年3月31日の閉校に伴い2点の要望がありました。

(要望内容)

- ①児童の登下校に係る交通手段の確保
- ②統合先である名寄市立風連中央小学校の早期改築

2、市民文化センター整備事業工事に係る進捗状況と基礎構造工事の変更について

企業が冬期間自主施工期間を設定。1月全体予定8.3%、全体実績4.8%

15日間の遅れ。ボーリングを行ったが工事北側に軟弱地盤が見つかり168本のラップル工法により地盤改良工事を行った。費用は、現工事金額で賄えるとみている。

3、文化芸術振興条例の制定について

基本的な考え方

(1) 条例の位置づけ

- ①文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂の活性化に関する法律に基づき定める。
- ②市民ホールの活用を中心とした文化芸術振興のための条例として位置付ける。
- ③地域の実情に見合った位置づけとする。

- (2) 劇場法に依拠した構成を念頭に、アドバイザーの提言を盛り込む。
- (3) 必要な財政上の措置を講ずるよう努める。
 - ①基金については、市民文化センター大ホール建設基金の有効活用について検討を進める。
 - ②補助制度については、既に各種団体への補助金交付規則の設定について検討する。
- (4) 検討組織の設置
 - ①条例案の検討のための委員会を設置する。

主な日程について

平成26年1月まで	資料・基本案整理
平成26年2月～4月	条例検討委員会の設置・開催
平成26年5月～7月	パブリックコメントの実施。 市議会（常任委員会）に条例案説明
平成26年9月	第3回市議会定例会へ議案上程
平成26年12月	第4回市議会定例会にて条例議決
平成27年4月1日	条例施行

大 学

1、名寄市立大学図書館基本設計に係る中間報告について

- (1) 建築概要
- (2) 諸室計画(面積表)
- (3) キャンパスの現況
- (4) キャンパスの将来計画（図書館棟の建設位置）
- (5) B&G海洋センター用地について
- (6) 図書館棟配置計画及び平面計画

※流れ

平成26年	実施設計
平成27年	着工

工期は2年6か月をみている。

第 2 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年3月26日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	教育委員会
出席者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二				
委員外議員					
欠席委員	植松正一				

教育委員会

審議事項

1、（仮称）市民ホールについて

(1) 工事の進捗状況について

全体実績 22.0%

コンクリート打設 3月中終了。

4月より躯体鉄骨が始まり、8月終了予定。

(2) 市民ホールの運営について

①市民利用の開発

②長期的な枠組み→文化庁助成の獲得

※事業運営を担う人材育成

※地域振興施策との連携

※オープニング記念事業

③事業運営についての組織体制（フレーム作り）

※事業企画総合プロデューサー

※事業企画協力・評価組織の設置

※事業運営組織

④事業費の一部を利用した助成金制度

※社会教育の助成はあるが、新たな助成制度を作ろう

(3) 文化振興事業の広域連携について

①現状認識

※予算・人員の減少で各施設を十分に活かしてきれていない実情

※どの自治体も方向性としては捉えていると推察

※現実的な仕組み作りが課題であり、進展していない現状

②今後の考え方

※現状・定住自立圏での公共施設の相互利用

※広域連携の必要性については認識

※中域規模のネットワーク形成

※具体策は、近隣自治体との主催事業の共有

問 (仮) 文化振興条例制定のスケジュールは

答 6月に4、5回の審議会を開き、方針助成制度を作成する。
6月末までにパブリックコメントを行い、8月に議案完成。

問 総予算と備品購入費の関係は

答 備品購入費

備品 8000万から1億を超える見通し

総予算 25億3300万

内訳

社会資本整備交付金 8億7000万・合併特例債・起債・補正予算債・

地域づくり交付金 7000万 を使用する予定。

(4) その他

①ホール名称の公募について

※4月以降で名称の公募を行う予定

②開設準備室の設置について

※4月1日から(仮称)市民ホール開設準備室を設置

第 3 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年5月21日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	総務部・教育委員会・大学
出席者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子				
委員外議員					
欠席委員					

(仮称) 市民ホール工事現場 現地視察を行いました。

本日の委員会は平成26年度総務部、行財政改革等々、学校教育及び社会教育の推進について名寄市立大学・名寄短期大学部の現況と事業の説明を受けました。

総務部

1、企画課

- (1) 「転入者向け公共施設無料おためしチケット」について
配布実績 779名 利用実績 111施設
- (2) 地域おこし協力隊・農業支援員について
東風連地区に長谷川雅美氏を委嘱
- (3) 新エネルギー・省エネルギー施策の推進について
住宅用太陽光発電システム設置補助金 (年15件を予定)
- (4) 男女共同参画の推進について
27年5月 パブリックコメント実施
7月 条例案決定
28年4月 条例施行
- (5) 智恵文地区医療バスについて

2、総務課

- (1) ふるさと納税に係る特産品の贈呈について

3、行革・職員・研修担当

- (1) 行財政改革の推進について
- (2) 職員研修について
- (3) 職員提案制度の活用について
- (4) その他

4、防災・法制・訟務担当

- (1) スクラム支援子ども受け入れ応援事業「なよろ夏季林間学校」の実施について
- (2) 公共財団法人北海道市町村振興協会の交付金を利用した災害対策用機器の購入事業について

5、情報システム担当

- (1) 平成26年度情報化推進事業について

6、財政課

- (1) 名寄市土地開発公社解散の流れについて

教育委員会

1、平成26年度所管事項の概要について

- (1) 学校教育課

教育改善プロジェクト委員会・いじめ防止基本方針

児童生徒数と名寄南小学校改築スケジュールについて

- (2) 指導主事

知・徳・体の調和のとれた児童生徒を育む取り組みについて

教職員の資質向上を図る取り組みについて

特別支援教育の取り組みについて

- (3) 生涯学習課・名寄市公民館・（仮）市民ホール

（仮）市民ホール開設準備室の報告

- ① 愛称募集開始
- ② 備品整備関係
- ③ 開館式典
- ④ 開館記念事業

- (4) 智恵文公民館

- (5) 生涯学習・風連公民館

都会っ子体験交流事業（杉並区との小学生交流）

名寄会場 7月28日～31日

東京会場 8月5日～8日

- (6) 児童センター・青少年センター・教育相談センター

- (7) 北国博物館

- (8) 図書館

おすすめ本リストの発行及び配布事業について

- (9) 天文台

- (10) 学校給食センター

小中2310名・保育所試食等 1日2500食 年間 195日488000食の供給を予定

地場産 67.8%を使用

2、名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の現況について

- (1) 学生の在籍状況 683名

(2) 入学・志願状況

(3) 大学の教職員数 教員 70名 事務職員 35名 合計 105名

(4) 就職・進学状況 194名中就職決定 180名 進学 7名

(5) 国家試験等の合格者状況
管理栄養士 91.2% 保健師 88.8%
看護師 95.2% 社会福祉士 41.7%

(6) 学生支援の状況

3、平成26年度の主な事業について

(1) 大学図書館整備事業について

総工費23億円 書庫・備品等4億

財源・起債 地域活性化事業債を活用

第 4 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年7月1日	会場	名寄市立大学会議室	案件	教育部・市立大学
出席者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子 黒井議長				
委員外議員	熊谷吉正 奥村英俊				
欠席委員					

名寄市文化芸術振興条例

条例制定の背景と経過

条例の基本的考え方

意見の募集期間

平成26年7月1日（火）～7月30日（水）30日間

問 市民ホール使用方針の考えは

答 名寄市文化振興条例の方針で進める。

名寄市立大学

- 1、保健福祉学部の再編強化・新学科設置計画（短期大学部児童学科の将来構想）に関する検討経過
- 2、保健福祉学部の再編強化・新学科設置計画に係る教学上の手続き（スケジュール）等について
- 3、社会保育学科の設置に係る施設の整備について
- 4、工程表（想定案）

問 児童学科の今後の志願者の状況は

答 資料で推測すると、受験動向で教員免許と医療保健福祉資格が取れる学部に人気がある。

認定保育園の所長になるには、幼稚園教諭と保育士 両方の資格が必要で、新しく取らなければならない。

問 再編強化・新学科設置計画は

答 社会保育学科の届出は前年度平成27年5月までに行い、10月に承認。

平成28年2月頃に届出認可

北海道厚生局には平成27年3月に計画書を提出

設置申請書は9月までに指定規則上の基準で提出

指定認可は平成28年3月に受け、同年4月の開学を目指す。

第 5 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年7月29日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	市立大学
出席者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子				
委員外議員					
欠席委員					

名寄市立大学

保健福祉学部の再編強化・新学科設置計画案について

1、学生の確保に関する考え方について

ア 北海道における大学・短大への進学状況の推移

平成24年 道内大学への進学者 16,316名 内大学 13,946名
短大 2,370名となっている。

イ 指定保育士養成施設数・入学定員の推移

指定保育士養成施設 短大は、平成19年から減少傾向にあり、大学は平成12年から上昇傾向にある。

ウ 道内先行大学（保育士・幼稚園教諭養成校）の志願者推移

藤女子大学 平成26年 競争率1.8倍 北海道文教大学 平成26年 競争率1.2倍
名寄市立大学短期大学児童学科 競争率2.2倍となっている。

エ 道内指定保育士養成施設の一覧

道内指定保育士養成施設 4年生大学は、藤女子大学人間生活学部・札幌国際大学人文学部・北海道文教大学人間科学部の3校しかない。

2、卒業者の就職・就業見通しについて

ア 指定保育士養成施設卒業者の就職状況

イ 保育所における保育士の就業状況

問 子供数の減少で生徒数の確保は

答 保育の低年齢化で需要が多くなっている。また、国の政策で子育て支援が多い中で保育士と幼稚園1種免許の需要も増えている。

問 教員の確保は

答 幼稚園1種免許を取得させるために2名の教員、発達・特別支援学級教員養成に3名の教員
児童福祉社会福祉に関連する保育士養成に1名の教員、計6名の教員が必要。

第 6 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年8月7日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	総務部・教育委員会
出席者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子				
委員外議員					
欠席委員					

総務部

1、総務課

ふるさと納税の推進状況について

7月現在 516人 8,826,388円

平成25年度 20人 1,555,800円 平成24年度 15人 760,000円

2、企画課

市内公共施設のお試しチケットの推進状況について

配布実績 884枚

利用実績 17施設 223回の利用があった。

3、参事（防災・法制・訟務）

8月4日～5日にかけて発生した大雨被害の状況について

旭川アメダス 総雨量 名寄 153.5ミリ 西風連 160ミリ

避難勧告 徳田シラカバ・豊栄

智恵文八幡

風連町緑町

栄町

東風連

床上 1棟 床下 39棟の被害状況でした。

8月9日午前9時より名寄市議会として被害状況の視察を行います。

教育委員会

1、（仮称）市民ホール整備事業 工事進捗状況について

7月 全体実績 32.0%

工事において、資材高騰や設計変更に伴う補正予算を

12月定例会に提出する可能性があるとの発言が建設担当者からあった。

第 7 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年8月26日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	総務部・教育委員会
出席者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子				
委員外議員					
欠席委員					

総務部

1、企画課

防災コミュニティ通信事業について

平成26年6月 HBCから名寄市へ、送信所や電柱、電線等を寄贈

平成26年10月～11月 防災ラジオの配布 82町内会：約250個・事業所：約50個

問 難受信地域の対応は

答 風連日進地区と西風連地区で外部アンテナによって対応する。

2、総務課

社会保障・税番号制度について

※社会保障・税番号制度の導入趣旨

番号制度は、複数の機関に存在する個人の情報を、同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い、公平・公正な社会を実現するための社会基盤（インフラ）である。

2015年（平成27年）10月 法人番号の通知・公表 個人番号の通知 を行う

教育委員会

1、「名寄市文化芸術振興条例（素案）」に対するパブリック・コメント手続の実施結果について

- ※ 案件名 名寄市文化芸術振興条例（素案）
- ※ 意見等の募集期間 平成26年7月1日（火）～7月30日（水） 30日間
- ※ 結果の公表方法 指定閲覧場所、市ホームページ、市広報
- ※ 意見等の提出者数・提出件数 提出者 2名 提出件数 2件（8項目）
- ※ 意見等の処理 案の修正箇所：0箇所

2、第3回市議会定例会提出補正予算及び財産の取得について

① 補正予算について

- * 特別支援教育介助員負担金
- * 文化センター維持管理事業費
 - ・ 施設周辺除雪委託料
- * （仮称）市民ホール整備事業費
 - ・ 需用費（消耗品費）

- ・ 備品購入費
- * 風連スキー場圧雪車借上げ
- * 保育緊急確保事業費補助金
- * 名寄岩関生誕100年記念事業補助金
- * 博物館維持管理事業費
 - ・ 暖房用ボイラー密閉式膨張タンク修繕料
- * なよろ市立天文台維持管理事業費
 - ・ プラネタリウム投影機器故障による備品購入費

② 財産の取得について

- * (仮称) 市民ホール整備事業費
 - ・ (仮称) 市民ホール備品取得
コンサートグランドピアノ

※ 8月24日水害対策について

1時間 27mm

避難対応

八幡地区 26世帯78名

徳田地区 自主避難

土嚢 備蓄590袋使用

第 8 回 総務文教常任委員会

年月日	平成26年10月2日	会場	名寄庁舎第一委員会室	案件	文化芸術振興条例 その他 2件
出席委員	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子				
委員外議員					
欠席委員					

総務部

企画課

名寄市自治基本条例について

1、点検を行う理由

自治基本条例第35条において、5年以内ごとに検討及び見直しを行い、必要な措置を講ずる。

2、点検方法

①庁内検討会議の設置

②市民アンケートの実施（郵送及び市ホームページ）

③有識者会議の設置

3、点検のスケジュール

庁内検討会議（平成26年10月～平成27年8月）

市民アンケート（平成26年11月～12月）

有識者会議（平成27年1月～6月）

問 市民への再周知は

答 現条例の周知もあわせて進めていく

教育委員会

1、平成26年第3回定例会付託議案第1号

名寄市文化芸術振興条例の制定について

問 第5条の財政上の措置では「講ずるよう努める」とあるが姿勢が弱いのでは

答 決して後ろ向きではなく、文化振興を図っていく姿勢は変わらない。

2、平成26年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月22日実施

全小中学校10校 小学校 230名・中学校 188名

小学校

国語A・算数A

全国レベル以上

国語B・算数B

全国レベル同等

中学校

国語A・数学A・国語B・数学B 全国レベル以上

第 9 回 総務文教常任委員会

年 月 日	平成26年11月7日	会 場	名寄庁舎第一委員会室	案 件	文化芸術振興条例 その他 9件
出 席 者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子 黒井議長				
委員外議員					
欠席委員					

教育委員会

名寄市民文化センター条例の改正について

- 1、 名寄市民文化センター条例の改正
設置目的、番地変更、大ホールの愛称変更等々
- 2、 名寄市多目的研修センター条例の改正
運営委員会の廃止、運営審議会とセンター運営委員会と併任
- 3、 名寄市公民館条例の改正
番地の変更
- 4、 各条例関連規則等
- 5、 その他
大ホールの使用料の周知期間を4月～6月とし、7月から貸館を開始
大ホール等の仮予約受付は1月からの開始。

付 託 案 件

※ 平成26年第3回定例会付託議案第1号名寄市文化芸術振興条例の制定について

国の文化芸術振興基本法、劇場音楽堂等の活性化に関する法律および旭川・苫小牧
釧路市の文化芸術振興条例の説明。名寄市文化芸術審議会(案)の概要・名寄市文化
芸術振興助成金交付規則(案)の概要の説明のあと、付託議案の2回目の審議に入る

問 他の市の条例の中に、基本方針を明確に謳われているが

答 市の責務の中に基本的な方針を定めていく。委員会の中で計画にするのか方針にするのかで
方針にすることとしたため、文化芸術振興方針を文化芸術審議会で作成する。

問 第5条の財政上講ずるよう努めるものとするがあるが、市としての決意が足りないのでは

答 委任でなく自由条例の為、努力義務とした。法に沿って取り扱った。

教育部生涯学習課

※ 風連歴史民俗資料館の冬季間休館について

休館期間 12月1日から翌年3月31日

総務文教常任委員長 駒津 喜一

第 1 0 回 総 務 文 教 常 任 委 員 会

年 月 日	平成26年11月20日	会 場	名寄庁舎第一委員会室	案 件	文化芸術振興条例 その他 6件
出 席 者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子 黒井議長				
委員外議員	佐藤靖				
欠席委員					

教育委員会

- 1、平成27年度借上げバス単価変更について
社会教育関係団体活動推進補助金は、激変緩和処置を3年間行う。
- 2、名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に対するパブリック・コメントの実施結果の報告
- 3、仮称市民ホール整備事業について
計画より少し遅れている。10月で、全体実績53、7パーセント
- 4、第4回定例会主な補正予算
 - ①教員住宅修繕費
 - ②仮称市民ホール整備事業費需用費、委託費、工事請負費、備品購入費

附 託 案 件

- ※ 平成26年第3回定例会付託議案第1号名寄市文化芸術振興条例の制定について
国の文化芸術振興基本法、劇場音楽堂等の活性化に関する法律の説明。
名寄市文化芸術審議会(案)の概要・名寄市文化芸術振興助成金交付規則(案)の概要の再説明のあと、付託議案の3回目の審議に入る
- ※ 全委員による討論を行い、各委員より部局への要望があり市民に分かりやすい基本方針の作成と市民周知や使用料財政措置の対応等々の話しの後、全委員が本条例について原案のとおり可決すべきものとなりました。

総 務 部

企 画 課

- 1、なよろコミュニティバスのダイヤ改正について
冬季にバスの遅れが生じるためダイヤの改正を行う。
一周の所要時間を57分から65分へ、西回りは27分から35分へ変更し、大幅な遅れを生じさせない。
市民周知は、時刻表の全戸配布、携帯時刻表の作成、市広報・ホームページ、新聞広告、ラジオ放送などで周知を行う。
- 2、日本ハムファイターズ稲葉篤紀選手の来名について
応募総数1333名中1107名に入場券を送付した。

総務文教常任委員長 駒津 喜一

第 1 1 回 総務文教常任委員会

年 月 日	平成26年12月22日	会 場	名寄庁舎第一委員会室	案 件	放課後児童健全育成 その他 2件
出 席 者	駒津喜一 高橋伸典 佐藤勝 大石健二 川口京二 高野美枝子				
委員外議員					
欠席委員					

教育委員会

1、平成26年第4回定例会付託議案第1号

名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
 小学校に就学している児童にあって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに
 授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、
 その健全な育成を図る事業（児童福祉法第6条の3第2項）

施行日 27年4月1日より

2、名寄市民文化センターの条例の改正について

(1) 名寄市民文化センター条例の改正

- ① 名寄多目的研修センターの諸室及び新施設（仮称）市民ホールの諸室を位置づけし、
使用料等を定義
- ② 冷暖房機能を備えた諸室に冷房料を設定
- ② 新設のホール部分は、正式名称を「大ホール」とし、愛称を「EN-RAY」とした

(2) 名寄市多目的研修センターの条例

名称及び位置の項目から名寄市の名寄多目的研修センターを削除し、名寄市智恵文
 多目的研修センターのみの条例とする。

(3) 使用料算定の考え方

「受益者負担の原則」と「公平・公正性の確保」の観点から、市民、利用者に理解が
 得られるよう合理的かつ適正な基準が必要になることから、新施設の料金については
 以下の考え方で算定

- ① 土地の取得費用・取得にかかる経費（建設費）・臨時経費などを原価対象外とした
- ② 受益者負担（使用料） = 原価（施設の管理運営に係る経費）× 性質別負担割合
- ③ 性質別負担割合の考え方

新ホールの負担割については市場性と必需性を考慮し
 公費50・受益者50とすることとしました。

Q. ほかの施設もこの料金体制を適応するのか？

A. 市担当は「市では公共施設の料金設定基準がなく、市民ホール新築棟の料金設定に限った
 ものと理解してほしい」とした他、「建物の保守、管理に関わる経費は、近隣の周辺施設や
 『よろーな』の数字などを参考にした見込みの数字。したがって、施設の運営実績が正確に
 とれる3年程度をめどに料金の見直しも出てくるものと想定している」とした。

総務文教常任委員長 駒津 喜一